

総合政策科学研究科前期課程 入試説明会
2024年6月15日（土）13:00- 於 SS2

博士前期課程について : A very short introduction

伊崎 直志

同志社大学大学院総合政策科学研究科

✉mail: cxzk1001@mail3.doshisha.ac.jp

メモ（10分間）

- 大学院志望動機
- 前期課程 入試／入学に向けてどのような準備をされたか
- 学業と日常生活
- 大学院（総政）で得られるもの、経験など
- 後期課程進学に向けてどのような準備をされたか（参考程度に） など

自己紹介

- [名前] 伊崎直志 (ISAKI Naoshi)
- [専門領域] 政治学＞比較政治学＞政党政治＞イギリス (労働党)
- [経歴]
 - ※一般会社員家庭
 - 東京都立大学 (旧・首都大学東京) 都市教養学部法学系政治学コース卒業
 - 本研究科 博士前期課程修了 ➡現在 博士後期課程1年次
 - 共訳書：プシェヴォスキ, A. 『民主主義の危機：比較分析が示す変容』 (白水社、2023年)

本日のメッセージ

はじめに：何を話すのか、何を話せないのか

- 個人の体験談でしかない（N=1）、個々個別の世界
- 内部での院進学的事情はあまりわからない
 - 政策学部自体には詳しくない
- 言説
 -だから.....
 - 学ぶのが好きだから大学院（？）：単線的に語られがち
 -。だが.....。それでも.....。

アウトライン

研究という営為

大学院（生）FAQ/CC：よくある質問と批判

- 「高等遊民」批判（大学レジャーランド論との相似形）
- 「モラトリアム」
- 「学歴ロンダリング」

大学院をどう擁護するか？：A Diffence

- 〈知識〉 〈教養〉 ？
- 「生涯学習」 ？
- 結果として“役に立つ”もの、獲得の目的化という誤り

- **学部3年次**

- ゼミ（演習）教員に相談

- **学部4年次**

- 8月 某大大学院受験（合格）
- 2月 本研究科受験

大学院の志望動機

「止むに止まれず」

- **積極的理由**

- 学ぶことの楽しさ、学ぶだけの物足りなさ、知のフロンティア
- 通俗的説明への違和

- **消極的理由**

- 新聞社か、議会事務局か、一般公務員か？
- 「就活」自体への違和感（自己分析、自己PR、性格診断）
➡ 最適化、コミットできず

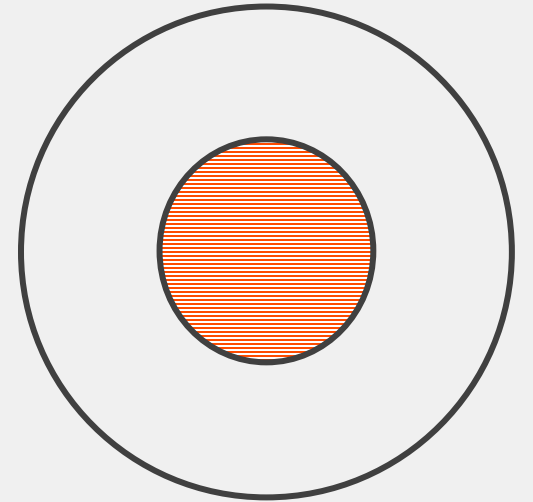
大学院の準備

□指導教員：所属・研究領域・業績

- 大学院はマッチングの問題、コンタクトをとる！（今すぐに）
- 業績—狭いディシプリン、専門分野、研究関心の確認
 - 指導可能範囲（学生が思っているより広い）
- 人となり＋指導方針

□入試：試験科目、語学（TOEIC）

- 専門科目の有無：教科書×最低5冊程度
- 専門系英単語：論文、『院単』



大学院の準備

□研究計画書一面接

- 問題意識の整理
- 研究したい分野の掘り下げ、関心と手法
 - 分野の主要論文の把握

□（学部生の場合）卒論をちゃんと書くことが最も近道

- ※自分は書かなかった（演習形式＋教員異動＋コロナ禍）
- 卒論→修論のシームレスな接続が理想的（多くは理想で終わる）

学業と日常生活

多忙（通俗イメージに反して？）、暇がない、生活が疎かになりがち

- 一日の生活スケジュール（1人暮らし）
- 融通は利く（利いてしまう）

大学院（総政）で得られるもの

- **学際性**

- 異分野との交流 e.g. 行政学、政治史、文化財保護.....
- 狭義の専門分野は自分でやればよい

- **定義、概念、思考様式**

- **考えるということ（多義的） The Art of...**

- 問い直し、何を問うべきか問う

- **友人！**

授業の中の「考える」の種類

多面的にみる	変化をとらえる	順序立てる
比較する	分類する	変換する
関係づける	関連づける	理由付ける
見通す	抽象化する	焦点化する
評価する	応用する	構造化する
推論する	具体化する	広げてみる
要約する		

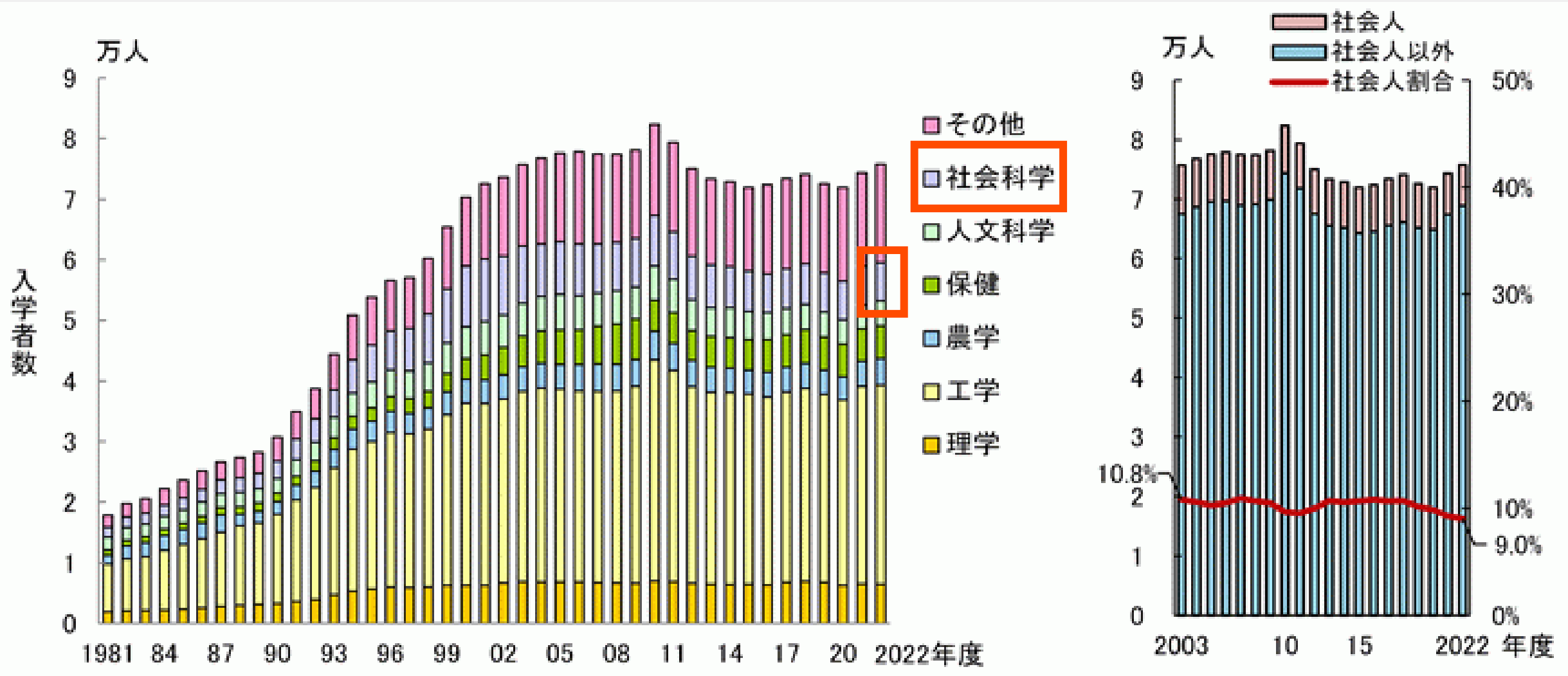
- 大学院の「授業」は高いレベルではない
 - 学部水準のおさらい・やり直しの側面、初学者向け
- 履修者側で

Negative

メンタルヘルス問題

- 藤波優記者 連載「大学院生とうつ病」：朝日新聞デジタル
<https://www.asahi.com/rensai/list.html?id=2145>
- 横路佳幸（2021）「大学院生におけるメンタルヘルス問題について」『人文×社会』1(1), 107-23.
https://doi.org/10.50942/jinbunxshakai.1.1_107
- 突然の超マイノリティ化、理解者は稀、孤独
 - だから「精神的なタフさが必要」？ ➡ 個々人の「能力」と帰責するのは誤り
- 指導教員との関係性の構築 and/or メンターの存在が不可欠

(図) 大学院（修士課程）入学者数



(出所) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 (2023) 「科学技術指標2023」、
https://www.nistep.go.jp/sti_indicator/2023/RM328_32.html

悩む人のために

- 「ルビコン川」なのか？

- イメージよりもかなり狭い川幅、あっさり渡れてしまう
 - どこがルビコン川なのか論争 cf. ムッソリーニ
- 戻るのも簡単（前期課程までなら）
- 賽は己で投げよ

- 他者比較は無益 *apple to apple*

- 「卑下」も「見下し／見下され」も無用・有害
- 「早く働けよ」「（あなたと違って）働いていると……」

(表1) 大学院での研究上の苦楽

楽しさ

- 自分でやり遂げること
- 複数の先行研究の流れが脳内で合流する瞬間
- 積み上げられた学史/研究の中に自分を位置づけること
- 知のフロンティアを追い続けること

苦しさ

- 地味な作業の積み重ね
 - Try and Error²
 - 周囲の理解調達の難しさ
 - 孤独
-

- 「巨人の肩に乗る」

1. 乗れる巨人を見つける
2. 窪みを埋め込む

(参考) 後期課程進学

- とにかく修論を頑張るしかない
 - ➡修論の読み直し、限界（≡伸びしろ？）の洗い出し
- 研究計画書の想定問答作成
 - 指導教員＋面接官3名を念頭に
- 英語試験対策：英文記事等
 - 日頃から英語論文等読んでいれば問題なし
 - 直前に読んだだけ cf. Good Authority



Neil Renic

@NC_Renic · [フォローする](#)



Reviewer 2 has such a low opinion of my academic career prospects that I'm starting to suspect it's one of my parents

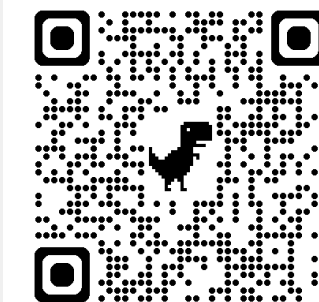
午前3:45 · 2023年12月11日



査読者2は、私の学業におけるキャリアの見込みを低く評価しており、両親のどちらかではないかと疑い始めている。

推薦図書その他

- 石黒圭 (2021) 『文系研究者になる―「研究する人生」を歩むためのガイドブック』 研究社
- 橋本努先生 「大学院進学のおすすめ」 「大学院受験のために」
<https://sites.google.com/view/hashimoto-tsutomu/home/for-students>
- cf. D・エリボン (2009=2020) 『ランスへの帰郷』 みすず書房
- <https://graduate.chuo-u.ac.jp/media/>
- 大学院関連リンク集 (独自)



メッセージ？

- 「楽しいが辛い」 ⇔ 「辛い楽しい」
- Enjoy your life, enjoy your environment!
- 何歳からでも・どんな動機からでも大学院の扉は開いている
 - But...“If you can't treat someone with dignity and respect, then get out” (Lt. Gen. Jay B. Silveria)
- 「憧れるのはやめましょう」 （大谷翔平）